



石の枕

「音楽」とは、音を楽しむと書くが、音は「福音」の「音」にも通じるだろうか。今日は「名前のない合唱団」の30周年記念コンサートである。この2つの「音」を楽しみに参上しよう。出席できない人も、祈りをもって応援して下さい。演奏会の前半は、楽しいパフォーマンス。後半はなんと「マタイ受難曲」の演奏である。指揮者及び出演者のために主の祝福を祈ります。

<芽茶苦茶の由来>

茶道の心得のある人なら誰でも知っているが、茶は三煎(せん)にして味わう。最高の芽茶に、まず、ぬるま湯をかけて芽茶のもつ甘さを味わう。ただし、この「甘さ」という味は子供にも、未開人にもわかる単純なものだ。だから、人間も未熟なうちは、「あいつはまだ甘い」ということになる。

第二煎は、やや熱い湯をかけて、タンニンの「渋さ」を味わう。この「渋さ」になると、幼児や野蛮人にはわからない。したがって、人間もできてくると、「大分、成長して渋味が出てきた」といわれる。

最後に、熱湯を通して、カフェインの苦さを味わう。この「にがさ」がわかるには、かなり味覚も洗練されてこないとダメだ。人生もまた、幾風雪を経てこないと、ほろ苦さの醍醐味など理解はできない。

ところが、茶の心得のない人間は、せっかくの芽茶に、いきなり熱湯を注いで、甘さも渋さもない。ただ、苦々しいだけのものにしてしまう。これを芽茶(滅茶・目茶)苦茶という。(「リーダーの帝王学」伊藤肇著より)

年輪を刻んで「苦さ」のわかる老人と、「甘さ」しか知らない青年の意見がくい違ふのはあたりまえである。Oldman と Youngman が楽しく心を合せて礼拝を捧げている教会は、最高の天国の前味である。

先週、カテーテル検査をもって、心筋梗塞の手術後の精密検査をしていただいて、良好との結果を受けた。この度の出張は、就任40周年記念の宣教旅行でもある。まず、オーストリアはウイーンにて。ルーマニア人教会と日本人教会にて説教。次は、ハンガリーは陸路で、ルーマニアに入る。そしてモルドバ地方へ。3ヶ国に離散しているルーマニア人への宣教となる。通訳は現地に強い川井勝太郎宣教師。欧州も異常気象らしい。毎朝のニンジンジュースとは、しばしの別れ。元気で帰国できるようにお祈りください。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ローマ2章~8章 Bコース:詩篇65篇~81篇

「御言を宣へ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。」
(第二テモテ四の二)

- | | | | |
|--------|---|------|------|
| 司 会 | ①金子兄 | ②松永兄 | ③広山兄 |
| 奏 楽 | | | |
| 祈 禱 | ①三畑兄 | ②右沢兄 | |
| 賛 美 | 聖歌645番 (カナダのブラッド兄召天)
(700番・イエスは主、死から甦られた主) | | |
| 「3つの愛」 | | | |
| 聖 書 | ① ヨハネによる福音書21章17~22節
②③ 使徒行伝28章23~31節 | | |
| 音 楽 | ワトト・チルドレンズ・クワイア(DVD) | | |
| メッセージ | ① 「勇気のバトン」 坪井永城副牧師
②③ 「狭いながらも楽しい借家」 大川従道牧師 | | |
| 賛 美 | 聖歌522番 (献金) | | |
| 頌 栄 | 「シャローム・シャローム」 アーメン | | |
| 祝 禱 | | | |

【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとうございます! ①足立陽介兄(青年会)
- ・ 本日より3回シリーズの「入門講座」。転入希望者も受講して下さい。柴田師。
- ・ 本日、ゴスペルマジック、ICA禱援会、手話講座、J.Plus あり。
- ・ 大川牧師ご夫妻は、3日より、ルーマニア宣教へ。聖務表を見ながらお祈り下さい。
- ・ 今週も祈禱会を大切に! 水曜夜と木曜朝。説教は菅原岳伝道師。
- ・ 福音礼拝は、8月中お休み。火曜昼2時半にビデオ礼拝があります。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時~10時半。説教は佐々木補教師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時~6時59分。説教は倉知契副牧師。
- ・ 早天祈禱会は、毎朝6時から45分間。旧約研究中。火曜~金曜。
- * ヤンチャ(中高)・学生会、合同キャンプの為お祈り下さい。2日~3日。愛川にて。
- * ワトト合唱団のチケットを、本日より発売します。スゴイですよ!